

口頭発表プログラム 3月24日

B会場（農学総合棟3F310 講義室2）

時間	座長	優秀若手発表賞発表	
11:30	浅野桂吾	Y01	トウモロコシ子実含水率に与える気象と品種の影響評価 ○藤竿和彦1・内野 宙1・出口 新2・藤森雅博1（1農研東北・2農林水産省農林水産技術会議事務局）
11:45		Y02	異なる人為処理下におけるススキ型草地の長期植生動態 ○包 蘇日1・柿原秀俊1・小倉振一郎1・板野志郎2・下田勝久3（1東北大院農・2新潟大農・3農研畜産）
12:00		Y03	低温培養条件下におけるキヌア茎に対する白色担子菌処理効果 ○惠木 徹1・花田正明1・藤倉雄司1・西田武弘1・福間直希1・Njolomba Joshua1・山川政明2（1帯広畜産大学・2道総研畜試）
12:15		Y04	ウシの舐塩行動からの固形塩摂取量の推定とミネラル摂取に及ぼす固形塩の寄与 ○桑 寛彦・柿原秀俊・宍戸哲郎・深澤 充・小倉振一郎（東北大院農）
<p>口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。 時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。</p>			

口頭発表プログラム 3月25日

A会場（農学総合棟3F309 講義室1）				B会場（農学総合棟3F310 講義室2）			
時間	座長	1. 草地生態・システム分析 ・緑地環境		時間	座長	2. 造成・管理・栽培	
9:00	小花和宏之	101	地上ハイパースペクトルデータの深層学習による草量の推定 ○川村健介1・安田泰輔2・吉利怜奈3・林志炫4・渡辺也恭3・黒川勇三5・小櫃剛人5（1国際農研・2山梨富士山研・3農研西日本・4農研農業情報・5広島大院統合生命）	9:00	根本英子	201	北海道向け子実多収トウモロコシ品種KD420の多収要因に関する研究—早生品種群の子実収量の比較および栽植密度反応— ○義平大樹1・宋 粮1・岡本達郎2・山口寛登2・中島大賢2（1酪農大・2北大大学院農）
9:15		102	UAVと圃場データベースの活用による牧草の乾物収量予測 ○三枝俊哉1・小川健太1・森 公象2・小玉哲大3（1酪農大農食環境・2家改セ十勝・3フォテク）	9:15		202	新規飼料作物チコリー（ <i>Cichorium intybus</i> ）およびプランテイン（ <i>Plantago lanceolata</i> ）の根釧地域における生育特性 ○中村直樹・松本武彦・牧野 司・角谷芳樹・秋山雄希（道総研酪農）
9:30		103	UAV画像から作成した3次元モデルによる牧草地の草量推定 ○小川健太1・三枝俊哉1・森 公象2・小玉哲大3（1酪農大農食環境・2家改セ十勝・3フォテク）	9:30		203	関東南部における品種の組み合わせ方法によるサイレージ用トウモロコシ二期作の作期分散とその生産性 ○折原健太郎・仲澤慶紀・辻 浩之・森村裕之・齋藤直美・廣田一郎（神奈川畜技セ）
9:45	休憩			9:45	休憩		
10:00	大出亜矢子	104	曇み込みニューラルネットワークを用いた寒地型イネ科牧草採草地におけるギンギシ類検出手法の開発 ○藤原和史1・杉浦 綾2・鶴田克之3（1熊本農研セ草地畜産・2農研情報・3熊本農研セ畜産）	10:00	下田勝久	204	晩生ライグラス類の生育特性と収量性 ○浅井貴之1・蟻田 陸2・新谷 円1・関谷尚紀1（1長野畜試・2長野県農大）
10:15		105	地球温暖化はモンゴル牧草の栄養価にどのような影響を及ぼすか？ ○吉原 佑1・衣笠利彦2（1三重大院生物資源・2鳥取大院農）	10:15		205	放射性Cs低吸収草種トールフェスクの利用によるカリ施肥低減化の検討 ○中村道長・角 英樹・森 忠克・山本哲夫・佐藤友彦（家改セ本所）
10:30		106	ミサキウマ放牧地に設置した2種類のプロテクトケージによる禁牧が外来牧草の優占度に与える影響の違いについて ○西脇亜也（宮崎大・農）	10:30		206	オーストリアにおける国際的な種子検査技術に関する調査 ○松井理榮子・杉中 求・三ツ木嘉之・川口 優（家改セ長野）
10:45	休憩			10:45	休憩		
	座長	3. 放牧・家畜管理・行動			座長	4. 飼料調製加工・貯蔵・利用	
11:00	進藤和政	301	複数の牧草や飼料作物を組み合わせた周年放牧体系の検討 ○佐藤正道（山口畜試）	11:00	関口建二	401	府県におけるイアコーン生産利用体系へのコントラクターの意向 ○志藤博克1・長田 享1・岡嶋 弘2・小林優史2（1農研革新・2タカキタ）
11:15		302	放牧草地の造成後年数の違いが土壌物性および土壌動物相、牛糞の消失に及ぼす影響 ○柴戸 怜1・呉 成真1・三谷朋弘2・河合正人2・上田宏一郎1（1北大院農・2北大FSC）	11:15		402	府県におけるイアコーン生産利用体系への野菜生産法人の意向 ○志藤博克1・長田 享1・岡嶋 弘2・小林優史2（1農研革新・2タカキタ）
11:30		303	連続放牧を活用した乳牛飼養技術の開発 5. 草丈とNDF含量の季節変動ならびに想定される飼養体系 ○須藤賢司・上田靖子・朝隈貞樹・篠田優香・八木隆徳・青木康浩（農研北海道）	11:30		403	汎用型飼料収穫機用スナッパヘッド2次試作機のイアコーン収穫性能 ○長田 享1・志藤博克1・小林優史2・岡嶋 弘2（1農研革新・2タカキタ）
<p>口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。 時間厳守。また、プロジェクトが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。</p>							

口頭発表プログラム 3月25日

C会場（農学総合棟3F306 講義室3）				D会場（農学総合棟4F405 講義室7）			
時間	座長	7. 土壌・肥料		時間	座長	6. 育種	
9:00	山田大吾	701	リン酸施肥および乾燥ストレス処理がダイズ低フィテンシステムの生産性および子実品質に及ぼす影響 Nisar Ahmad Taliman ¹ ・鈴木康彦 ¹ ・○実岡寛文 ² （1広島大院生物圏・2広島大院統合生命）	9:00	荒川明	601	ソルガムSIL-05の糖蓄積時におけるSWEET遺伝子群の発現解析 水野浩志 ¹ ・○川東広幸 ¹ ・春日重光 ² （1農研作物・2信大農）
9:15		702	イタリアンライグラス早春播き体系における堆肥および窒素施用量が乾物収量、粗タンパク質収量および硝酸態窒素含量におよぼす影響 ○加藤直樹・服部育男・金子 真・荒川 明・桂 真昭（農研九沖）	9:15		602	ソルガム類市販品種の準高冷地・高冷地における生育、収量 ○春日重光 ¹ ・太田岳志 ¹ ・小山内光輔 ² ・関根平 ² ・野宮 桂 ² （1信大農・2雪印種苗）
9:30		703	窒素施肥がテフグラスの乾物重および硝酸態窒素含量に及ぼす影響 ○井戸田幸子 ¹ ・石垣元気 ² ・李 国梅 ³ ・Nitthaisong Pattamal ¹ ・本田直樹 ² ・飛佐 学 ¹ ・石井康之 ¹ （1宮崎大農・2宮崎大農フ・3中国青海省玉樹州草地センター）	9:30		603	準高冷地において選抜・育成したライムギ系統の特性評価 ○春日重光 ¹ ・野田泰良 ¹ ・小山内光輔 ² ・関根平 ² ・野宮 桂 ² （1信大農・2雪印種苗）
9:45	休憩			9:45	休憩		
10:00	赤松佑紀	704	トウモロコシ不耕起栽培における堆肥の利用ー表面施用ー ○佐藤 真 ¹ ・須永義人 ² （1岩手畜研・2農研畜産）	10:00	清多佳子	604	トウモロコシF1品種「ゆめちから」染色体置換系統群の収量性に関わるテオシント由来の染色体領域 ○室井智陽・村木正則・伊東栄作（農研九沖）
10:15		705	トウモロコシ不耕起栽培における堆肥の利用ー前年多量施用ー ○佐藤 真（岩手畜研）	10:15		605	バヒアグラスにおけるリグニン生合成に関わるCAD遺伝子のゲノム編集 ○権藤崇裕 ¹ ・湯浅玲奈 ² ・明石 良 ² （1宮崎大フ・2宮崎大農）
10:30	休憩			10:30		606	ドローン空撮画像と深層学習を用いたオーチャードグラス・個体評価法 ○秋山征夫 ¹ ・無田廣之 ² ・鈴木尚也 ² ・眞田康治 ¹ （1農研北農研・2バンダイナムコ研究所）
	座長	8. シニア発表		/			
10:45	市戸万丈	S01	盛岡市におけるイネ科植物花粉飛散と花粉症患者の動向 ○雑賀 優 ¹ ・須藤礼子 ² （1元 岩手大学・2元 岩手大学大学院連合農学研究科）				
11:00		S02	獣医学科・動物衛生学実習の隙間に押し込んだ「草類利用学」小論 ○川村 修（元 宮崎大学）				
11:15	雑賀	S03	International Forage and Turf Breeding Conference (IFTBC)の概要 ○中川 仁（浜松ホトニクス 中央研究所）				
11:30	優	S04	研究者のための資料断捨離 ○市戸万丈（元 畜産草地研究所・草地試験場）				
口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。							

口頭発表プログラム 3月26日

A会場（農学総合棟3F309 講義室1）				B会場（農学総合棟3F310 講義室2）			
時間	座長	1. 草地生態・システム分析・緑地環境		時間	座長	2. 造成・管理・栽培	
9:00	板野志郎	107	温暖化に伴う寒地型牧草の最適草種分布の変化 ○樽見恵梨奈1・築城幹典1・森 昭憲2（1岩手大農・2農研畜産）	9:00	佐藤真	207	西南暖地の公共牧場における寒地型牧草放牧地の植生推移 ○進藤和政・手島茂樹（農研畜産）
9:15		108	草原植物種の α 多様性に関する数理模型 ○塩見正衛1・陳 俊2（1茨城大学名誉教授・2中国・西北農林科技大学・草業与草原学院）	9:15		208	シカ獣害対策下でのペレニアルライグラス草地造成と持続性の現地評価 ○平野 清1・須山哲男2・浅野桂吾1,3・土井和也1,4・進藤和政1・中尾誠司1・井出保行1・竹内正彦5・塚田英晴6（1農研畜産・2神津牧場・3現 石川県大・4現 酪農学園大・5農研中央・6麻布大）
9:30		109	草地学・農学における統計的手法の正しい利用のために：仮説検定とp値問題 ○塩見正衛（茨城大学・名誉教授）	9:30		209	公共牧場における不耕起播種機を用いた省力的な草地更新の効果 ○塩沢道明・加藤知寿子・神津誠一・樋口 守（家改せ長野）
9:45	休憩			9:45	休憩		
	座長	3. 放牧・家畜管理・行動					
10:00	梅村和弘	304	黒毛和種繁殖牛群における屋間放牧中の行動時間割合の個体差：個体間一貫性および生産関連指標との関係 ○安在弘樹・下拾石 萌・羽仁勁太・山田奈苗・平田昌彦（宮崎大農）	10:00	北川美弥	210	北海道における湛水直播による飼料用イネ晩播栽培の可能性 ○岡元英樹1・藤倉潤治1・川田裕之2・毛利通孝2・木原雄哉2（1道総研上川・2ヤンマーアグリジャパン）
10:15		305	加速度計による放牧時の乳牛の採草行動モニタリング 朝重匡喜1,2・○芦部詩織2,3・箭内利菜2,4・戸澤あきつ5・佐藤秀介6・渡邊剛夫7・平松裕子8・佐藤文博8・伊藤 篤9・長尾慶和1,2,3（1宇大院農, 2宇大農附属農場, 3農工大院連合農, 4現所属:全農栃木県本部, 5帝京科学大, 6八ヶ岳農業実践大学校, 7栃木県酪農協, 8中央大経済, 9宇都宮大工）	10:15		211	飼料用ダイズの安定多収栽培技術の開発ーダイズ適品種の検討ー ○内野 宙1・魚住 順1・出口 新2・藤竿和彦1・河本英憲1・嶮野英子1・神園巴美1（1農研東北・2技術会議）
10:30		306	ヤギの放牧が緑地の植物及び土壌動物の多様性に及ぼす影響 ○河合涉吾1・工藤野乃2・八代田真人2,3（1岐阜大院自然科学技術・2岐阜大応生・3岐阜大GeFAH）	10:30		212	クロタラリア（ <i>Crotalaria juncea</i> L.）の乾物収量 ○金子 真・加藤直樹・服部育男（農研九沖）
口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。 時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。							

口頭発表プログラム 3月26日

C会場（農学総合棟3F306 講義室3）				D会場（農学総合棟4F405 講義室7）			
時間	座長	4. 飼料調製加工・貯蔵・利用		時間	座長	6. 育種	
9:00	林田雄大	404	食用イネ品種を用いた飼料イネの出穂前後の第一胃内乾物消失率と収量の推移 小橋有里1・小柳 渉2・○清水翔太2（1全酪連酪技研・2新潟畜研セ）	9:00	村木正則	607	極晩生ソルガム品種「風立」および親系統の熟性遺伝子型の推定 ○高井智之1・米丸淳一2・海内裕和3・春日重光4（1農研九沖・2農研作物・3長野畜試・4信大農）
9:15		405	分離給与条件における泌乳牛への粳米サイレージの最大可能給与量 小橋有里1・○関 誠2・宮腰雄一2（1全酪連酪技研・2新潟畜研セ）	9:15		608	日長・温度条件がソルガム熟性遺伝子の出穂特性に及ぼす影響 ○高井智之・荒川 明・上床修弘・桂 真昭（農研九沖）
9:30		406	分離給与条件における泌乳牛への粳米サイレージの給与と第一胃内pHの変化 ○小橋有里1・関 誠2・宮腰雄一2（1全酪連酪技研・2新潟畜研セ）	9:30		609	ソルガム遺伝資源における種子生産性の日印比較 ○野口友嗣1,2・Sivakumar Subbarayan3・清沢敦志4・後藤和美4・村上康文2・奥泉久人1（1農研遺伝資源・2東京理科大学・3Tamil Nadu農業大学・4長野畜試）
9:45	休憩			<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; position: relative;"> </div>			
10:00	井上秀彦	407	カマイラズ形質を示すイネの飼料成分および第一胃内乾物消失率 ○関 誠1・清水翔太1・石橋俊明2（1新潟畜研・2新潟農総研セ作物）				
10:15		408	飼料用米の収穫時期の違いが粳米サイレージの栄養成分および製造能力に及ぼす影響 ○林田雄大1・大川夏貴2・北川まき3・北浦日出世1・鶴田 勉1（1熊本農研セ畜研・2熊本県阿蘇地域振興局・3熊本県畜産課）				

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

ポスター発表（農学総合棟2F201 大講義室）

奇数番号コアタイム：3月25日 13:00～14:00
偶数番号コアタイム：3月26日 11:00～12:00

1. 草地生態・システム分析・緑地環境

P01	テンプレートマッチングによる旧版地形図を用いた富士山周辺の土地被覆推定 ○安田泰輔（山梨県富士山科学研究所）
P02	半自然草地における機械学習を用いたNDVIの時系列解析 ○安田泰輔（山梨県富士山科学研究所）
P03	草地植生，利用形態および傾斜によるモグラ塚分布の偏在性 ○樫村 敦・真砂綾佳・飯田彩華・プラダン ラジブ・伊藤秀一・松本大和・今井早希・稲永敏明・岡本智伸（東海大農）
P04	携帯型LiDARを用いた中山間地域放牧地の地形情報の取得 ○吉利怜奈・渡辺也恭（農研西日本）
P05	牧草の粗タンパク質成分を遠隔推定するためのCMOSカメラ画像の太陽光スペクトル補正方法の検討 ○庄 中原1・中村溪士郎1・北 直矢1・田中佑樹1・石垣元気2・荒井昌和1（1宮崎大工・2宮崎大農）
P06	マメ科混播草地におけるUAVを用いた草種の識別 ○大出亜矢子・田中勝千・皆川秀夫（北里大獣医FSC）
P07	都市公園緑地環境におけるマダニ類の分布とSFTSウイルス調査 ○大竹秀男・鈴木亜美・森本素子（宮城大食産業学群）
P08	牧草地におけるカリウム循環モデル ○築城幹典・野澤はるか・判田玲奈・樽見恵梨奈（岩手大農）
P09	LiDARを用いたローズグラスの収量予測技術の基礎的研究 ○中村溪士郎1・庄 中原1・田中佑樹1・北 直矢1・石垣元気2・小川将克3・荒井昌和1（1宮崎大工・2宮崎大農・3上智大理工）
P10	八雲牧場における有機牧草生産の環境影響評価 ○堤 道生1・小野 泰2・小笠原英毅2・寶示戸雅之2（1農研西日本・2北里大獣医）
P11	機械学習によるデジタル画像からのウシの領域抽出 ○田中繁史・板野志郎・吉田智佳子（新潟大農）
P12	携帯型分光計測器を利用した圃場乾燥中の刈取牧草の水分率簡易推定法 ○渡辺也恭1・森 公象2・林 志炫3・吉利怜奈1・伴苗行弘2（1農研西日本・2家改セ十勝・3農研情報）
P13	UAV空撮画像を活用したトウモロコシ湿害発生状況の推定 ○二俣 翔1・小林広人1・高野 浩1・佐藤克昭1・小路丸未来2（1静岡畜技研・2ジオサーフ）
P14	熱赤外画像を用いた放牧草地における暑熱環境の評価 ○板野志郎・遠田菜々実・田中繁史（新潟大農）
P15	牧草の粗タンパク質成分の推定のための2波長のフィルターを用いて撮影した画像の処理の検討 ○北 直矢1・中村溪士郎1・庄 中原1・田中佑樹1・石垣元気2・荒井昌和1（1宮崎大工・2宮崎大農）
P16	マルチスペクトルカメラ搭載ドローンを用いた放牧草地の牧養力評価法 ○林 志炫1・渡辺也恭2・吉利怜奈2（1農研情報・2農研西日本）

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターの貼り付けは3月25日10:00から、撤去は3月26日12:00-13:00の間にそれぞれ行ってください。
26日13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。

ポスター発表（農学総合棟2F201 大講義室）

奇数番号コアタイム：3月25日 13:00～14:00
偶数番号コアタイム：3月26日 11:00～12:00

2. 造成・管理・栽培

P17	関東地域に適した周年放牧地向け牧草 ○下田勝久・平野 清・井出保行（農研畜産）
P18	放牧牛糞、牛糞完熟堆肥および化学肥料の施用が異なる土壌酸性条件下におけるオーチャードグラスの再生長に及ぼす影響 ○柿原秀俊・小倉振一郎（東北大院農）
P19	根釧地域におけるペレニアルライグラス追播翌年のチモシー草地の被度の推移および乾物収量 ○角谷芳樹・牧野 司・中村直樹・秋山雄希・松本武彦（道総研酪農試）
P20	草地用口ポットトラクタによる牧草生産技術の開発 4. 草地における有人無人協調作業の適用性 ○関口建二1・岩瀬卓也2・枚田士郎2・黒田晃史2・森 公象3（1道総研十勝・2ヤンマーアグリ・3家改セ十勝）
P21	北関東における子実生産に適したトウモロコシ品種の選定 ○赤松佑紀1・森田聡一郎2・菅野 勉1（1農研畜産・2農水省）
P22	関東におけるアワノメイガ(<i>Ostrinia furnacalis</i>)の発消長と子実用トウモロコシの被害の品種間比較 ○吉田信代1・井之口 曜1・赤松佑紀2（1農研中央・2農研畜産）
P23	秋まきライ麦2番草の収量性および栄養価 ○今 啓人・田中常喜・戸苅哲郎・藤井弘毅・出口健三郎（道総研畜試）
P24	早期刈りおよび4回刈り条件におけるオーチャードグラス-ペレニアルライグラス混播採草地植生の変遷 ○坂上清一・八木隆徳・小花和宏之（農研北海道）
P25	ジャガイモ根茎由来の軟腐病によるワルナスビ防除 ○宍戸哲郎・小倉振一郎（東北大院農）
P26	出穂率は牧草栄養価の指標として有効か？ -チモシー採草地における刈取り適期の決定のために- ○坂上清一・小花和宏之・八木隆徳（農研北海道）
P27	九州南部の春播き栽培で子実生産に適したトウモロコシの品種 ○室井智陽・村木正則・伊東栄作（農研九沖）
P28	写真測量とレーザスキャナーを用いた草高計測の比較 ○小花和宏之1・吉利怜奈2・渡辺也恭2・坂上清一1（1農研北海道・2農研西日本）
P29	トウモロコシの水分含有率の推移 ○小林広人・二俣 翔・高野 浩・佐藤克昭（静岡畜技研）
P30	排水不良圃場における飼料用トウモロコシの子実収量（2年目試験結果） ○菅野 勉1・赤松佑紀1・松波寿典2・内野 宙2・重松健太3（1農研畜産・2農研東北・3農研革新）
P31	飼料用トウモロコシの剪葉処理が葉面展開および植物体の成長に及ぼす影響 ○石井康之1・Li Bokun2・新美光弘1・井戸田幸子1（1宮崎大農・2宮崎大院農学工学総合研究科）
P32	飼料用ダイズの多回刈り技術に関する基礎的研究 ○石垣元気1・Yogi Sidik Prasajo2・橋口正嗣1・明石 良1（1宮崎大農・2宮崎大院農学工学総合研究科）
P33	フェストロリウム（那系1号）の放射性セシウム濃度 ○樺村恭子1・渋谷 岳1・山田大吾1・吉田由里江2・松波寿弥2（1農研畜産・2農研東北）

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターの貼り付けは3月25日10:00から、撤去は3月26日12:00-13:00の間にそれぞれ行ってください。
26日13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。

ポスター発表（農学総合棟2F201 大講義室）

奇数番号コアタイム：3月25日 13:00～14:00
偶数番号コアタイム：3月26日 11:00～12:00

2. 造成・管理・栽培

- | | |
|-----|--|
| P34 | 飼料用トウモロコシにおける栽植密度及びちどり播種が収量に及ぼす影響
○柳田知夏・和氣貴光・沖杉美穂・沼野井憲一（栃木畜酪研） |
| P35 | 北海道東部におけるフェストロリウムの追播による品質向上と越冬リスク低減技術の開発 1. 越冬リスク低減効果の検証
○眞田康治1・横山 寛2・谷津英樹2・秋山征夫1（1農研北海道・2雪印種苗） |
| P36 | 岩手県の農家圃場におけるトウモロコシの窒素充足の実態
○藤竿和彦・内野 宙・藤森雅博（農研東北） |

3. 放牧・家畜管理・行動

- | | |
|-----|---|
| P37 | Minimal ambient temperature required for solarization pretreatment of bagasse for improving its feeding value by white rot fungi
○Lazaniriana RANDRANTOARIMBOLA・花田正明・Joshua NJOLOMBA・恵木 徹（帯畜大） |
| P38 | 阿蘇地域における斜面崩壊した野草地植生の経年変化
○岡本智伸1・小田 茜1・奥村真衣1・藤本幸穂1・伊藤有里菜1・岡本恭潤1・吉川大貴1・檜村 敦1・プラダン ラジブ1・伊藤秀一1・市原啓吉2（1東海大農・2町古閑牧野組合） |
| P39 | 補助飼料給与量の異なる泌乳牛の放牧地における採食行動の比較
○篠田優香・上田靖子・朝隈貞樹・八木隆徳・小花和宏之・須藤賢司（農研北海道） |
| P40 | ペレニアルライグラスの追播放牧地と非追播放牧地での乳量差
○佐々木 亨1・平田 愛2・貝沼宏太郎1・田瀬和浩1・杉田紳一3（1日草種協北海道・2日草種協・3日草種協飼料作物研） |
| P41 | 野草地放牧ヒツジの増体量および栄養摂取量の季節変化
○浅野桂吾・新田桃代・石田元彦（石川県大生物資源環境） |
| P42 | 高糖含量オーチャードグラスの放牧採食量
○梅村和弘・眞田康治（農研北海道） |
| P43 | トールフェスクKyushu15草地の親子放牧への利用可能性 2. 3年間の栽培試験および放牧試験2年目の成績
○堤 道生1・大島一修1・大谷一郎1,2（1農研西日本・2農研機構本部） |
| P44 | エコフィード給与羊の栄養と羊肉の評価
○吉原 佑（三重大生物資源） |

4. 飼料調製加工・貯蔵・利用

- | | |
|-----|--|
| P45 | 未粉碎のまま密封貯蔵したハイモイスターシェルドコーンの飼料特性
○多田慎吾・青木康浩・宮地 慎・矢島 昂（農研北海道） |
| P46 | 籾米の無破碎・無脱気サイレージ調製技術の現地実証試験
○井上秀彦1・川出哲生1・遠野雅徳2・小林寿美2・神谷裕子2・鈴木知之2（1農研革新・2農研中央） |
| P47 | 極晩生ギニアグラス「うーまく」の異なる栽培日数における乾物収量、飼料成分および第一胃内消失率
○細田謙次・金子 真・服部育男・加藤直樹・林 征幸・中村好徳（農研九沖） |

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターの貼り付けは3月25日10:00から、撤去は3月26日12:00-13:00の間にそれぞれ行ってください。
26日13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。

ポスター発表（農学総合棟2F201 大講義室）

奇数番号コアタイム：3月25日 13:00～14:00
偶数番号コアタイム：3月26日 11:00～12:00

4. 飼料調製加工・貯蔵・利用

P48	タケサイレージの添加がトウモロコシサイレージの発酵品質に及ぼす影響 ○倉田瑞穂・石垣元気・石井康之・新美光弘（宮崎大農）
P49	草地・休耕地に出没する野生シカ肉の遊離アミノ酸特性 ○時田昇臣・福田恵香・國寄みどり（日獣生科大応命）
P50	ツマジロクサヨトウ侵入に対応する未熟飼料用トウモロコシの収穫・調製試験 ○服部育男・加藤直樹・金子 真（農研九沖）
P51	Community Dynamics of Lactic Acid Bacteria Related to Silage Fermentation of Paper Mulberry, a Woody Plant Grown in China ○Zhumei DU1,3・Fuyu YANG1・Yanli LIN2・Kuikui NI1・Yimin CAI3 (1College of Grassland Science and Technology, China Agricultural University・2Beijing Sure Academy of Biosciences・3JIRCAS)
P52	十勝中央部におけるライ麦後作のイアコーン収量と飼料特性 ○根本英子1・川上あずさ2・青木康浩1・宮地 慎1・多田慎吾1・矢島 昂1・大下友子1（1農研北海道・2北海道十勝農改普セ）
P53	Dynamic Changes in Chemical Composition of Sorghum Stover and Pearl Millet Stover During Field Exposition and Their Ensiling Effect on Silage Fermentation and Nutrient Loss ○蔡 義民1・Zhumei DU1,2・山崎正史1・Delma JETHRO3・Nignan MAN3・林 慶一1 (1JIRCAS・2China Agricultural University・3Institute of Environment and Agriculture Research (INERA), Burkina Faso)

5. 生理・形態・病理・昆虫

P54	トウモロコシすす紋病の発生と病原菌胞子の飛散 ○岡部郁子（農研中央）
P55	フェストロリウム幼苗への糸状菌エンドファイト導入の試み ○菅原幸哉1・久保田明人2・清 多佳子3（1農研中央・2農研東北・3農研畜産）
P56	イタリアンライグラス種子登熟期におけるロリオースの蓄積 ○西本 完1・清 多佳子2・田村健一2（1農研食品・2農研畜産）
P57	南九州地域における数種暖地型マメ科牧草の生産性ならびにネコブセンチュウ被害 ○飛佐 学・鶴木実花子・武井恒介・井戸田幸子（宮崎大農）

6. 育種

P58	オーチャードグラス早生高WSC含量系統「東北8号0G」の飼料特性 ○横山 寛1・谷津英樹1・眞田康治2・秋山征夫2・藤森雅博3（1雪印種苗・2農研北海道・3農研東北）
P59	オーチャードグラス流通品種の採種性比較調査 ○加藤知寿子・辻 佳秀・塩沢道明・川口 優（家改セ長野）
P60	いもち病抵抗性および越夏性で選抜したイタリアンライグラス極晩生系統の暖地における評価 ○荒川 明1・上山泰史2・清 多佳子2・園田亮一1・桂 真昭1・高井智之1・上床修弘1（1農研九沖・2農研畜産）
P61	核DNAの塩基配列に基づくリードカナリーグラスの栽培品種と在来系統の識別：海外の試料を含めた検討 ○芝池博幸1・江川知花1・上山泰史2（1農研農環変動・2農研畜産）

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターの貼り付けは3月25日10:00から、撤去は3月26日12:00-13:00の間にそれぞれ行ってください。
26日13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。

ポスター発表（農学総合棟2F201 大講義室）

奇数番号コアタイム：3月25日 13:00～14:00
偶数番号コアタイム：3月26日 11:00～12:00

6. 育種

P62	もし育種家が紙の野帳を捨てたら～電子野帳「iYacho」「Field Book」導入による育種研究業務の改善報告と展望～ ○三ツ橋昇平1・七夕高也2・玉置宏之1（1農研畜産・2かずさDNA研）
P63	オーチャードグラス「那改1号」の越夏性・耐病性・収量性の評価 ○前原泰徳1・内山和宏2・山口透3・花立信二4・上山泰史2・清多佳子2・川口優5・渡邊美のり4,6・朝日紗英子4,6・牧野雄二1・竹原利昭1・角田正和1・加藤浩昭3・山下健一3・世浪秀明4（1家改セ熊本, 2農研畜産, 3家改セ宮崎, 4家改セ鳥取, 5家改セ長野, 6現家改セ）
P64	チモシー新品種「北見35号」の育成とその特性 ○足利和紀1・佐藤公一1・飯田憲司1・藤井弘毅2・田中常喜2・岩淵慶3・竹田芳彦3・安達美江子3・竹村紘3（1道総研北見・2道総研畜試・3ホクレン）
P65	9月上旬播種によるトウモロコシワラビー萎縮症圃場抵抗性検定 ○村木正則・室井智陽・伊東栄作（農研九沖）
P66	ポットおよび圃場試験におけるオーチャードグラスと多年性ライグラスの耐湿性 ○藤森雅博・久保田明人・池田堅太郎（農研東北）
P67	高採種性イタリアンライグラスの育成に資する関連形質の調査 4. 長野県での2年間の調査における採種性関連形質の検討 ○南彩夏・川口優・松井理栄子・櫻井光一・相川誠（家改セ長野）
P68	アルファルファ耐踏圧性系統の播種3年目の特性 ○廣井清貞・佐藤広子（農研北海道）

7. 土壌・肥料

P69	Physiological characteristics of low phytate soybean line under low phosphorus condition ○Qin Dong1・実岡寛文2（1広大院生物圏・2広大院統合生命）
P70	肥料三要素・堆肥長期連用試験草地における簡易更新後の牧草収量と植生の推移 ○山田大吾・手島茂樹・北川美弥（農研畜産）
P71	寒地型多年生牧草5種における安定同位体セシウム（ ¹³³ Cs）とミネラル（Ca、Mg、K）の濃度 ○池田堅太郎・的場和弘・東山雅一（農研東北）

8. 高校生（コアタイムは番号に関わらず、3月26日 11:00～12:00です）

P72	草地更新方法の違いがローズグラス草地の乾物収量、栄養価およびサイレージの発酵品質に及ぼす影響 ○荻堂温人1・屋良朝宣3・伊村嘉美2・金城和俊2・波平知之3（1沖縄向陽高校・2琉球大農・3琉球大農フィールドセンター）
-----	--

ポスター発表者は指定されたコアタイムにポスターの前で待機し、説明してください。
ポスターの貼り付けは3月25日10:00から、撤去は3月26日12:00-13:00の間にそれぞれ行ってください。
26日13:00以降に掲示されているポスターは大会事務局で処分します。